

はがね

刀剣・甲冑コレクション名品展

2018年

3月1日〔木〕—4月8日〔日〕

開館時間／午前10時—午後5時（入館午後4時30分まで） 休館日／月曜日

観覧料／一般700（550）円、大高生450（350）円、中学生以下無料 ※（）内は20名以上の団体料金

主催／公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

T 05810048 神戸市東灘区御影那家2丁目12-11 TEL 0788411000 <http://www.kosetsu-museum.ac.jp>

本展は中之島香雪美術館の開館を記念して開催致します。

香雪美術館は朝日新聞の創立者、村山龍平(1850-1933、号香雪)が集めた美術工芸品を収蔵し、昭和48(1973)年に開館しました。コレクションは武具・仏教美術から書画・茶道具に至る、日本・東洋古美術の各ジャンルを網羅しています。

村山龍平の美術品収集は、まず刀剣から始まりました。伊勢国田丸藩(現在の三重県度会郡玉城町)の藩士の家の出身で父守雄の影響もあり、青年時代には伊勢の刀匠を訪ね歩き、京都や大阪の刀剣鑑定会には必ず出席し、時には刀剣屋にも出向くほどでした。特に古刀を好み、当初の状態を留めた「その時代そのままのもの」を重視し、「地鉄」と「姿」にこだわったといわれます。

本展では、村山龍平コレクションの中より重文「太刀 銘正恒」(鎌倉時代)や、「太刀 銘江州甘呂俊長」(南北朝時代)などの刀剣、甲冑の名品を、京都国立博物館所蔵の作品と併せてご紹介します。

梅園会 講演会と茶会

「明治時代の刀剣・刀装具蒐集

—財界人を魅了した金属の輝き—

講師:内藤直子氏(大阪歴史博物館 学芸第2係長)

開催:2018年3月9日(金)

講演:午後1時、茶会:午後3時から

定員:50名(応募多数の場合は抽選)

参加費:3,000円 ※「刃金の美」展の入館料を含みます。

[参加申込方法] 2018年1月31日(水)必着

往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金のご案内を書面にて連絡いたします。

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

香雪美術館「梅園会」係

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から

学芸員によるギャラリートークを行います。

※聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。

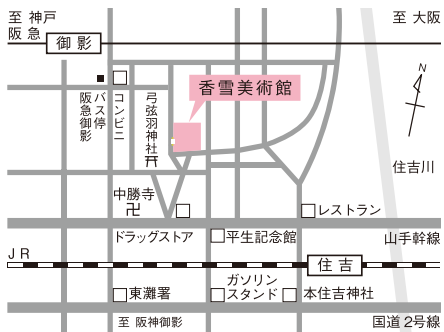
交通案内

・阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分

・JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分

・阪神「御影」駅より市バス19系統で

「阪急御影」下車徒歩5分



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

Tel. 078-841-0652 <http://www.kosetsu-museum.or.jp>

次回 企画展

「明治の刀工 月山貞一と村山龍平(仮)」

2018年4月21日(土) - 6月17日(日)



①裏面(重要美術品) 太刀 銘正恒(鎌倉時代) ②裏面(重要美術品) 太刀 銘正恒(鎌倉時代) ③短刀 銘兼延(室町時代) ④福神凶勢 銘後藤光良(花押)(江戸時代) ⑤菊岡光利 麒麟圖(三所物)(江戸時代) ⑥重要美術品 短刀 銘国光(鎌倉時代) ⑦新名威肩白胴丸兵足(江戸時代) ⑧は京都市立博物館蔵

刃金の美

刀剣・甲冑コレクション名品展

⑤のうち

⑤のうち